

2019年もありがとうございました

センター長の一言



院内外で交流会や忘年会が開かれ、地域の先生方、施設のスタッフの皆様との交流の機会を得ました。さまざま

な情報を交換し、貴重なご意見を拝聴でき有意義でした。私個人の感想ですが、不思議なもので、同じ内容・同様の紹介状のやり取りでも、直接お会いした先生やご施設には、垣根が低く感じるようになりました。「顔の見える関係」「声の聞こえる関係」の大切さを再確認しました。平成31・令和元年もお世話になりました。良いお年をお迎えいただき、令和2年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

## 公立能登総合病院忘年会

12月19日（木）にあえの風で病院忘年会が行われました。日頃からお世話になっている開業医の皆様にもご参加いただき、今年一年を振り返りながら盛大に行われました。



## TOPICS

トピックス

### 脳神経内科へ名称変更について

「神経内科」は、令和2年1月から「脳神経内科」に名称変更いたします。

これは、日本神経学会における標榜診療科名の変更に伴うものであり、診療内容に変更はございません。

### 「神経内科」→「脳神経内科」

### グリーンリボンキャンペーンのライトアップ実施



話そう。  
大切な人と。

あなたやあなたの大切な人に臓器移植が必要となった時、  
あなたはどうしますか？  
そうする大切な人と、この問題について話しましょう。



毎年10月は臓器移植普及推進月間ということで、今年も10月16日から10月18日までの間、正面玄関・通路を移植医療のシンボルカラーであるグリーンでライトアップしました。

# 介護・医療連携研修会及び意見交換会開催

11月27日(水)に、七尾市・中能登町内の居宅介護支援事業所や介護保険施設の方々をお招きし、研修会及び意見交換会を実施しました。

院外から31名のケアマネジャーや相談員の方々にご参加いただき、当院の地域連携の取り組みや病棟師長の紹介、院内職員を交えた意見交換を行いました。

「退院時の連絡は早めにほしい」「病状説明があるときは連絡が欲しい」など、スムーズな連携を図るために必要な課題が提示されました。

また、「こういう機会があれば参加したい」「具体的な話し合いができて良かった」などの前向きなご意見もあり、課題を改善しながら、次回開催に向けて取り組んでいく必要性を感じました。



インタビュー  
谷内医療ソーシャルワーカー

4人の職員に人生会議をしてみた感想をインタビューしました。題して、

## 「人生会議やってみた」

### 普段から人生会議やっている派

**Fさん** 「晩ごはん何？」の感覚で「食べられなくなったからどうする？」と話せる家族です。親戚が亡くなった時には、自分の葬式はどうしたいと身構えず、伝え合っています。30代の兄は、年がいったら延命せず「自然に」と答えるけど、「今、食べられなくなったらどうしたいか分からない…」と言っていました。普段から口にはしているけれど、決められないですね。

**Kさん** TVやニュースでACPや人生会議について耳にした時をきっかけに、平日頃から一人暮らしをしている母とは話し合っています。娘の私に迷惑をかけたくないと「動けなくなったら施設に入れてほしい」「長生きはしなくてもいいけど、痛みだけはとってほしい」と、母の思いは聞いています。いざという時、生声を聞いているので迷わないと思います。

皆さんの話を聞いて



### 人生会議 初めてやってみた派

**Hさん** 夫は「頭おかしくなった時点で何もしなくていい」「動けんくなってまで生きとりたくない」と言っていました。口ではそう言っても、本当のことなんてなってみないと分からないし、年とともに思いも変わっていくようにも感じました。

**Oさん** 人生会議の日に、夫に「(私に万が一のことがあったら)臓器提供してね。」「意思表示カードに書いてあるから」と伝えることができました。夫は言葉にしたら現実になるといって、人生の最期の話なんてしたくないタイプ。もちろん夫自身のことには「今はまだ決められん。また考えとくよ…」それでも話をする良い機会になりました。

「11月30日 いい看取り・看取られ 人生会議の日」に合わせて、臨床倫理委員会でポスターを作成し、院内で人生会議について啓発を行いました。

人生の終わりまで、どのように過ごしたいか、もしもの時にそなえて、「自分が望む最期」について周りの人と話し合ってみませんか。

## 人生会議しよう



11月30日

いい看とり看とられ 人生会議の日



発行：公立能登総合病院 臨床倫理委員会

家族の中でも温度差があったり、各々の思いは千差万別だと改めて感じました。大事なことは「話し合いを重ねること」。そして意見の違いや変化にも柔軟に対応していくことなのではないでしょうか？

## みんなちがってみんないい!